ない。しかし人間が人間である

きているのか。この問題は簡単

答えただけでは済まないという に答えることが出来る。簡単に

時その時に或る目標を立て、 点が厄介なだけだ。人間はその ことは人間自身の責任であり、

間の生命は生物学的、生理学的

一自殺は権利だ」

とが出来るかどうかだ。

「人生は果して生きる価値があ

無差別に「悪」と決めつけるこ

ただ問題は自殺を一般的に

には人間が作り出したものでは

るカ」

人間は何のために生

所もあると思うが私なりに抜す ある。間違って受け止めている が当時も今も私にとって難解で 易しく説いていると言っている の本を読む機会を得た。著者は れている。その年の五月私はこ の哲学」という書が初版発行さ

されるのを避けることは出来な

それが倫理的評価の対象と

いし紹介する。

されていて、決して神とか国家

自己の生命は自己によって承認

とかによって所有されているの



 発
 行
 者

 秋
 田
 県
 立

 秋田高等学校同窓会

 秋田市手形字中台一番地

 TEL
 018 (832) 9553

 URL http://www.akitahs-ob.gr.jp/

 印刷
 (有) 三
 浦
 印

て贈った。

題字は第六代塩田会長

会員348名

名を迎えて行われた。 大体育館で新会員三百四十八 二日(月)午前十時から母校

はじめ小林忠雄、井上房子副 会長に来賓、同窓会員ら五十 多数、同窓会から丸山健会長 名近くが参列した。 からは高橋幸臣校長ら教職員 会長はじめPTA役員、学校 入会式には大島千明PTA |人は必ずやらなければならな

式は後藤幸子さん(昭和54

同窓会入会式は、去る二月 | 法の上に〟という言葉を研究 利のための闘争』を書いたル 法をとおって、しかしローマ 精神』でその序文に、ローマ グ(独)は著書『ローマ法の 自身の専門分野に関わること 十周年を迎える」と話した後、 ドルフ・フォン・イエーリン 田高校と変遷を重ね今年百三 洋学校であり、秋田中学・秋 から「ローマ法の権威で『権 者の心構えとして残している。 ついで、丸山会長が新会員の 広孝事務局長の開式の言葉に 人会を歓迎する挨拶をした。 「本校の創立は明治六年の

る(人口十万人当たり二十三・ とは大変頭の痛い問題であり、 地域の関係者にとって、このこ 十二・五人)、A町(五十・六 七・一人)。なかでもM町(四 連続日本一となっている(三十 三人)。その中で秋田県は七年 い国は日本であると言われてい 減少対策、予防対策に懸命に取 **八)のように自殺率が特に高い** これの対策にご苦労され、その 世界の中で、自殺率の最も高 悪か」 はその人間自身に属しているべ ではない。だから自己の生命を る。それを意志薄弱とか阿呆と が窮地に陥って自殺を遂げてい 歴史上充分尊敬するに足る人物 き筈である。――「自殺は善か かいって片付けることは出来な 題として、それを処分する権利 処分することの善し悪しは別問 (一八五〇)十月自殺している。 。自殺が人間の行動である以 高野長英が嘉永三年 する。

「哲学的自殺」—

十三年三月斉藤晌先生の「自殺なり前のことになるが、昭和三

り組んでおり日夜ご努力されて

いると新聞等で報じている。か

は、罪や責任に対する後始末、 ことかをもっと追求しなければ 自殺。芥川龍之介氏(一九二 る。有島武郎氏(一九二三)の とか哲学的自殺という言葉があ のために空想したり活動したり をあげて問いかけている。)-ならない。(著者は多くの事例 ゆく、そのためとは何のための の自殺がある。普通は自殺 つまりそのために生きて -文学的自殺 はと問いかけている。)この少年 の死は目的あっての死でもなけ

自殺率七年連続日本 同窓会區会長 小 の汚名返上へ 九日ジュネーヴで発表された世 会現象としての自殺」 った点に於いて確かに或る哲学 もない。死そのものが目的であ れば、病的な精神錯乱の結果で 五六年(昭和三十一年)七月十 るということである。 自殺否定にも哲学的なものがあ で一言付け加えている。それは 的なものを暗示している。一 忠 雄(昭和28年卒)

回避等の共通した特徴がある。 者は藤村操(一九〇三)という 多くの刺激性を有している。(著 哲学的自殺、という言葉はより 死そのものが目標とされる。こ われるものだ。これに対して 〃 事件の解決、自己矛盾の解消が 圧迫や冤罪に対することによる れが通俗に「文学的自殺」とい 方で漠然たる死へのあこがれ、 極端な汚辱や苦痛からの 七月のデータ(警視庁調べ)で、 自殺の原因を多い順にあげてい 世界一、とある。昭和二十九年 界保健機構(WHO)の報告に 疾病悲観、精神錯乱、 る。人生観、神経衰弱、 市の中で若い人の自殺は、東京 又当時の朝日新聞は世界の大都 率の一番高いのは日本とある。 よると、世界で自殺による死亡 叱られて、生活苦、事業失 責任感、等々である。 家族不 失恋、

リングの言葉をはなむけとし ではなくそれを乗り越え、次 である」と話し、このイエー の人に伝えていくということ 次に、現在秋田日産自動車

いことがある。ただ学ぶだけ

年卒)が一先輩激励のことば_ ㈱社長の三浦廣巳氏(昭和4 このあと副会長の小林忠雄 入会式激励のことは との時代に夢の実現を

を述べた。(一面の別記事)

年卒)の司会で始まり、斎藤

さに溺れず、勢いよく生きて 小野隆裕君に贈呈。受領者代 奏のもと、「校友会歌」を斉唱 ださった皆さんに感謝し、若 氏が記念品を前生徒会副会長 表として「私たちを支えてく いきたい」と決意を述べた。 最後に全員で吹奏楽部の演

がする。皆さんのすばらしい という間に月日が過ぎた感じ が今よみがえってきている。 ンケート内容に感動した記憶 コーディネート、

し、入会式を終えた。

殺の原因とみられるのは が「自殺の哲学」書を拙くまと めたものである。(現代では自 「生活経済」「家庭問題」|勤務

することができる所以であり

結実させていただきたい。

向を見せて行くのだろうか。 昇したように、 の意志で絶つという行為は、か その環境がどんどん変ぼうして 象、社会的背景はより複雑多岐 って十八世紀の産業革命後に上 いる。人間が自己の生命を自己 になり、都市化、過疎化が進み、 二十一世紀の今、社会的現 へのだろうか。以確実に増加の傾

さんが存在するのか。回りの

いるのか。社会に出て企業に 人から頼られ、必要とされて

か、紙面に限りがあるのでふれようなかかわりを持っているの 候・食・地域等が自殺率とどの (宗教・信仰・思想・民族・気



う公開シン える」とい の未来を考 さんが主催 歓迎します。 会というこ として皆さ ポジウムに ます。先輩 とうござい とでおめで した「秋田 んを心から 二年前皆

皆さんは人生における最も

すばらしい友と先生に恵まれ 多感な時にこの秋田高校で

あるいはア から、あっ たが、あれ して参加し パネラーと

問題」の順となっている。) 病苦

の意志ではなく社会の意志とし こうした見地からは自殺は個人 自殺を社会学的現象として考慮 の社会学者(一八五八~一九一 七)は一自殺に関与する因子は、 づけている。 的道徳的組織にある。」と結論 決行せしめるものは社会の政治 て考えられる、人をして自殺を デュルケームというフランス

になってきている。過去の延

に向かって進んでいきたい。 ないよう先輩として大きな夢 と思う。我々も皆さんに負け であれば不可能なことはない うことになる。皆さんの年代 自分の心のありかた次第とい でもない。自分自身の人生は ーであり、評論家でも解説者

本日はどうもありがとうご

たいものだ。

展させるための広報紙であり よく見、秋高同窓会をより発 もできるだろう。天上天下を える一虫の目」と考えること

るのか、それが問われる時代

ことは経験がものを言わない 長線上に未来はない、という

ざいました。

か、どういう成果をあげていに、その人は何をしているの 所属したならば肩書ではなし

をそらすことなく正確にとら

「天下」は、この世の現実を目 方向性を考える目。そして、 会の、ひいては母校の今後の 今年百三十周年の、秋高同窓

ンスの時代だと考えられる。 のある若者にとっては大チャ ことでもある。変化の中で自 ならないという点で、行動力 分自身を変えていかなければ 時代になってきているという 今、この世の中は激しく、

天

上

天

下

常に親しく本音で話してもら 出し、それが自分を支えてい 流企業の肩書だけでは通用し られていた時代もあった。し 賭けたその思いを、是非将来、 は本当に微々たるものだが、し になる皆さんは、いろいろな 生・社会人になっていくこと 思う。そして、これから大学 ることを感じることがあると 三年間過ごされた。人生にと ない。なんのためにそこに皆 変化している。たとえば、か ら○○年にかけては、失われ 文化活動などに多感な時代を 輪が広がり、大きな力となっ を持って動きだすとき、人の かし、一人が思いを決して志 て、感謝の気持ちでいっぱい 時こそ秋田高校の同窓生とし える、支えてもらえる。この 場で多くの先輩と会うことに 当によかったものとして思い かし、今は一流大学卒や、一 つては秋田高校であれば認め 間に世の中の価値観が大きく た十年といわれている。この 秋田高校で学習・スポーツ・ て世の中を変えていく。この になる瞬間である。一人の力 なる。同窓生というだけで非 って何度かこの高校時代を本 九十年代のバブルの崩壊か ば夢は叶う。変化の激しいこ 功者の例を調べてみるに、共 ことは、一方では大変辛く厳 の世の中で自らを変えていく げようという気持ちさえあれ を立て、一つの物事を成し遂 悪いとかいうのは、ある意味 そういう心構えで進んでいっ 分自身の力をつけることによ 不条理な環境にあっても、ど 自分自身の力をつけること。 は決して言い訳を他に求めず、 を高く掲げて、夢実現のため な道を選んでいただきたい。志 難な道があったら、ぜひ困難 を開発するには安易な道と困 持つ潜在能力は無限だ。それ が開発される。今、皆さんの つかったとき持てる潜在能力 ある。人間は困難な状況にぶ 心したり、油断する動物でも 遂げられないのか。人間は慢 境の中で人はなぜ物事を成し るということだ。恵まれた環 ディキャップをばねにしてい 通した点がある。それはハン しいことでもある。多くの成 る。しかし、人生において志 は思い通りいかないこともあ で天気のようなものだ。時に の中が厳しいことをいいとか 多くの企業が苦しんでいる。世 ていただきたい。 んな困難な環境にあっても、自 って、その道を打破していく、 に一歩一歩進む、そのために われわれは人生のプレーヤ

状をいただいた。「同窓会だよ を見る目、鳥瞰する鳥の目、 り」について考えてみると、 交換し、意見を述べ合い、あ らずと為す。是れ知るなり。 時代でもある。「之を知るを知 るか高度な選択眼を問われる キャッチし、何をどう利用す う。▼現在はあらゆる情報が を図り、母校の発展に尽くす」 まで及んでいる。昭和五十年 その内訳は会員・旧職員(郵 数は二万千七百六十一部で、 印刷部数二万三千部、送付部 だより」が広く読まれている とあり、改めて一秋高同窓会 りでお名前を拝見しました。 ▼これを、この「同窓会だよ 地の間、宇宙の間(広辞苑)。 下 (てんじょうてんげ) 一天 (論語) に込められた意味を今 ると為し、之を知らざるを知 錯綜しており、情報を適切に るべき姿を求める必要があろ めにも、広報によって情報を 在は重要である。「会員の親睦 同窓会にあっては、広報の存 十代後半から九十代と幅広い 国に散在し、また、年齢層も、 なる。▼三万人近い会員が全 れ、この号をもって七十号と 十二月八日に第一号が発行さ 宗谷から、南は沖縄県石垣島 送付先は北は日本最北北海道 係が約千二百部である。また 送)が約二万六百部、学校関 ことを感じた次第である。 「天上」 は、 天から広くこの世 (同窓会会則)目的を果たすた 度考えてみたい。▼天上天 「同窓会だより」は、 県外の後輩から年賀 旧制秋田中学四年生で最上

芯は、どっちに寄っているか をたずねた。わからないとい

ようく一つ一つの根っ

即答すると、こんどは年輪の ぼくに年輪の出来る訳をきき、 伐りとられた根っこを見渡し、 をたべた。その時、おやじは、 前の持ち主が裸にした切り株 おやじさんたちと山に登った。 案じて、やってきた。集落の きの理由にぼくの作男生活を

に腰をおろして、にぎりめし

孝め!と思った父が近くにも かった。はじめは、この親不 をたてた青春に泣きごとはな

想

っていた山の植林計画を表む

随

件である。自ら選択した逆境

と苦労が待っていた。が「恙ぇ

体験する。

決定的な青春の事

次男のぼくは農家の奉公人を 学に惹かれて秋田市の商家の 翌年秋田鉱専に進むも農民文 機関車工場で敗戦を迎えた。 級生の夏、土崎の国鉄工機部

第

理事会では、丸山健会長の

念事業等の各種案件を原案通り承認した。

中間報告、そして、今年五月から始まる百三十周年記

催された。卒業年次理事八十九人が出席し、各常置委 員会、特別委員会報告、新入会員入会式、本年度事業

(金) 午後六時から秋田市中通の彌高会館において開 平成十四年度の第二回理事会が、さる十二月六日

平成14年度

秋田高校同窓会理事会 開会の挨拶に次いで、高橋幸

校の近況として、学問 大学志願率が九五・ 希望者がいないこと、 面では、卒業生に就職 と述べた。そして、学 きさを痛感している」 秋田高校の存在感の大

氏(昭和52年卒・NHK交響

期大学教授・ピアノ)、菅原潤

(昭和61年卒・ピアノ)の三 楽団・フルート)、大谷祥子氏

人。④同窓会主催の祝賀会を

氏

(昭和56年卒・聖霊女子短

講師。③記念演奏は、寄贈ピ 和36年卒・東京大学学長) ②記念講演は、佐々木毅氏 時から、秋田県民会館で挙行。 典は、九月一日(月)午前十 具体案が示された。①記念式 記念事業については、下記の

アノの披露も兼ね、鳥井俊之

新人戦で硬式野球部が 生のスポーツ分野では、 七%と過去最高を更新 したこと。また、在校

|した。この中で高橋校長は | 臣校長が学校の近況等を報告 生が学術界、経済界の 東北大学学長に選任さ 月には、吉本隆先生が 総長就任に続き、十 れるなど、多数の卒業 ており、日本における リーダーとして活躍し 「佐々木毅先生の東大 委・小林良弘委員長、 委・工藤雄一委員長、 委・藤原豪男委員長、 委・速見洋子副委員長、 田日産自動車、株代表取締役)が され、先輩代表の激励者には、 体育館で挙行することが決定 員入会式は、二月三日に母校 委・相場事務長が、それぞれ 委 · 山谷浩二委員長、 が守られていることなど、う 三浦廣巳氏(昭和4年卒、 会の活動報告がなされ、 に、各常置委員会と特別委員 れしいニュースが報告された。 年ぶりの優勝、山岳部初の全 県優勝、硬式テニス部の十三 グビー部の二十二年ぶりの全 所管事項を簡潔に報告した。 に、各種案件を審議。はじめ 本当の意味で文武両道の精神 県五位などの好成績が相次ぎ、 甲子園が期待されること、ラ 激戦区の中央地区を制し夏の 二つ目の議題である新入会 議事では、丸山会長を議長 財政 名簿 施設 広報 企画

選ばれた。 本年度の事業中間報告は、

| 顕彰誌、周年誌の発刊。⑥女

ッスルホテルで開催。⑤先覚

当日午後二時から、秋田キャ

秋田杉は自らを冷たい北風か どうして北に寄っているかを れてはじめて知った。芯の北 こを見てから答えろという。 リヤおろしに吹きさらされる れた。一年のほぼ半分はシベ に寄っていることを。すると、 ら寄るために厚い皮をつけ、 百姓だった父は教えてく 生 くように農家の住みこみ奉公 重みに耐える根っこだ。今の えるところに使う。おまえは はそんな会話で許してくれた。 に身を敢えて落したぼくを父 苦労はいつか柱になれる!無 なれねえ。柱は家の重力に耐 断で秋田鉱専を中退、流れつ 目の美しい天井板でも柱には

こい根っこは生きている」。海 置き去りにしているが「どっ うにマスコミは忘却の彼方に ったが、賞味期限が切れたよ いた頃が人数的には絶頂期だ 始し今春、五十周年を迎える。 の会、「若い根っこの会」を創 かって集団就職列車が走って たちの出会いと友だちづくり

若い根っこの会会長 加 日出男(昭和21年卒)

北側に寄っていく。が太陽を て数えにくい。その分、芯は 北側の年輪は皮で重なりあっ わばオーバーを着る。だから 方から柱をとり、南側の方は のびのびと育ち年輪は数えい いっぱいに受けて育つ南側は 木目を生かして板をとる。 が用材としては芯のある 誕生日の朝、父は突然、逝っ 進む。その夏、ぼくの十九の た。いらいめぐりくる誕生日 で受けとめ翌年、東京農大に 京農大を出ると、志を立て、 ばくはその時、父の愛を満身 は父の命日である。やがて東 美しい花をみて根っこを思う 八は少ない」と地方出の若者 問わずである。

うと洋上大学をはじめ、これ けている。年齢職業いっさい を豪華客船『ふじ丸』でつづ 毎年ゴールデンウィーク、グ また今年が第三十五回記念。 アム・サイパン南十字星航路 みつめ自らの生き方を考えよ の彼方から地球および日本を

マイナーな物

十一月一日現在で、目標額の 計、名簿会計を説明。創立百 年度事業の一般会計、基金会 斉藤広孝事務局長が行い、 八十二人から、千五百七十六 三千五百万円に対し、二千百 二十周年記念事業募金には、 子運動トレーニング場建設と 道、

|ピアノ寄贈。⑦同窓会名簿発 行。⑧記念招待試合を五月三 催し、種目は、硬式野球、剣 十一日(土)に全校応援で開 サッカー。⑨文化交流事 援歌、部歌を入れたCD作成 開催。⑪記念品は、校歌、応 田県民会館で記念フォーラム

業は、五月二十九日

(木)、秋

後任に佐藤晋氏

斎藤 藤 藤 寒 美 退

同期会開催で同窓会の活性化を

現同窓会事務局長斎藤広孝

らなる協力を呼びかけた。 事が報告され、同窓生へのさ

最終議案の創立百三十周年

万千五百円が納入されている

織運営の貴重なノウハウが報告された。 期会事務局からは、名簿作成、運営経費等、 会の活性化対策などについて、 年次理事ら十七人が出席し、各年次の現状報告や同窓 極的かつ模範的な活動を続けている昭和四十九年卒同 時から秋田市の榮太楼旅館において開催された。卒業 同窓会若年次懇談会が、さる二月一日(土)午後三 意見が交わされた。積

増加、従来のさまざまな問題

行。経費節減、会費納入額の

約五年間、事務局で新しい名 なった。平成十年五月からの 月末をもって勇退することと 氏(昭和23年卒)が、この三

簿・会費の管理方法を企画実

点の解消等、同窓会運営の近

立ち上げ時期は、卒業十年目 とを説明した上で、①同期会 と位置付けて開催しているこ て、同窓会の斉藤広孝事務局 卒業から二十年以内を若年次 めに、同窓会企画委・山谷浩 ほしいこと。③同期会やクラーの活性化対策については、「年 て、 窓会館、事務局を有効活用し をメドとしていること。②同 長が若年次懇談会について、 見 若い方々の同窓会に対する意 していきたい」と挨拶。続い 成十二年以来三年ぶり。はじ 一委員長が「こうした機会に、 若年次懇談会の開催は、平 要望を受け入れて、実現 同期、同窓の輪を広げて

も必ず入れる。総会は クラスから集め、女子 人)をなるべく全部の 次の通り。幹事(発起 年次との交流、ゴルフ ために日時の決定、伝 開催し、県外参加者の 達を早くする。 一年毎に夏、冬交互に

こもうと『大根踊り』を発案。 を背負うが如く駆け抜けた英 目の人生論にペンを走らせて 長におだてられ目下六十二冊 藤さんが出た」ともちあげる。 ン捨てずに洋上大学に挑む加 年の東京農大から海へのロマ 傑榎本武揚が創始して一一一 前・学長の松田理事長もまた と面白くペンを走らせている。 に風変わりな人生論になるな また根っこだ。書きながら、 春の来ない冬はない』。大根も は、なんと『大根踊り物語・ いるが、与えられたタイトル 今なおつづいている。進士学 やり応援団にユーモアをもち 学園祭(収穫祭)の委員長を 十一冊書いた。東京農大時代 洋上大学の推薦のことばに「海 書きながら人生論をすでに六 実

> | ス会の開催に、事務局として 年次会費の収集方法に至るま 経緯、組織作り、運営経費や の佐藤悦紹事務局長からは、 たが、特に昭和49年卒同期会 れの現状を具体的に報告した。 た各年次の代表者が、同期会 報告された。この後、 も支援していくこと、などが バックアップし、名簿作成等 運営費の捻出方法等、それぞ 組織作りの経緯、名簿作成や いずれも苦労談が中心であっ 出席し 国語教諭として秋田高(昭和 佐藤晋氏(昭和30年卒)が就 六十二年~平成二年)をはじ 敬意と感謝を表したい。 め市内外の各校に勤務した後、 くことが決定した。佐藤氏は、 代化に大いに貢献された。 これまでのご尽力に謹んで また、後任として四月より

て紹介された。また、同窓会 運営システムが詳細にわたっ で、積極的な活動と模範的な 会からのアドバイスは、 等の意見が交わされた。 成マニュアルを作る_ 要」、「同窓会が組織結 けた昭和四十九年同期 次毎の組織整備が必 同期会運営の成功に向 ている。 上の激務が予想されるが、 力をお願いしたい。」と、 さを感じると同時に、生徒・ とめたい。会員の皆様のご協 任の斎藤氏からの助言指導を 周年にあたる来年度は例年以 関わりを持つことの幸せも実 教師・事務局と三度も母校と は「事務局長という職責の重 頂きながら会の発展充実につ 感している。学校創立百三十

待されている。 職。温厚な人柄と長い教員経 験を生かした事務局運営が期 大館商業高の校長を最後に退 今回の就任にあたり佐藤氏

だが、帰省先や勤務先等もあ 員の現住所掌握が最大の課題 効活用して、開催をPR。会 れマンネリを防ぐ。同窓会事 会など、新しい企画を取り入 「同窓会だより」を有

前後の

わせた名簿作成、

整備と管轄

町)で誕生。大正九年(一九 秋田市千秋矢留町(旧上中城 治四十年(一九〇七)五月、

一〇)に秋田中学入学、ここ

から伊藤勝三が生涯情熱を傾

けた野球人生が始まる。

回秋田県少年野球大会

第

内藤兄弟の活躍

くなれる予感? スポーツ派、今年はラグビーで熱 見事日本一の栄冠を手にした。同 が、大舞台、新春の芝で大活躍し、 月十一日(土)東京国立競技場で (二十二年ぶり全県優勝)、同窓の 母校も花園大会への期待も膨らみ 窓のラグビー日本一は、藤田康和 行われ、本校出身の兄弟ラガーメ 63卒・明大)以来、三人目の快挙。 (昭42卒・早大)、小杉山英克(昭 ラグビー大学選手権決勝戦が、 (内藤晴児、慎平=早稲田大学)

常勝秋工を四度撃破し、全国

一類四カ所、

男鹿工ラグビーの名を知ら めた名監督である。法政ラ

卒)と弟・慎平選手 (平成12 呼される母校の名と活躍する 年卒)の二人。同窓の学術界、 わやかな風を巻き起こしたの はず。ラグビー王国秋田にさ ラガーメンの姿に熱くなった 国営放送のラグビー中継で連 スポーツを愛する同窓は、某 一力となった。春先からレギュ | 伝統復活と大学日本一の原動 年の早稲田ラグビーに入部し、 内藤兄弟は、今年創部八十五 テン、エースとして活躍した | 偉業。秋田高校時代もキャブ スポーツのチャンピオンシッ 経済界での活躍は数多だが、 プで日本一獲得は希少ゆえの

傷で、夏から実力をつけてい 愛する同窓の絆をさらに深め 兄・晴児も社会人相手にトラ 靭な足腰とスピードを持つ慎 弟でポジションを競い合いな らフルバックとして出場。兄 た弟・慎平が、対抗戦終盤か ェンスが持ち味。その兄の負 正確なパス、安定したディフ 晴児は、その的確な判断力と 鹿工業高校の社会科の教師。 むきなプレーは、スポーツを つのトライ。日本選手権では、 平選手は、伝統の早明戦で二 ックルを受けても倒れない、強 がらのシーズンとなった。タ ラーポジションを確保した兄・ た。二人の父・徳男氏は、男 イを挙げるなど、兄弟のひた

春からの快進撃、大いに期待。 花園大会出場の大本命として、 で熱く開花しての栄冠となっ 人、文武両道の良血、大舞台 つかむのが楕円競技、転がり も二十二年ぶりの全県制覇 た。内藤兄弟に続けと、母校 の妙。祖父は元衆議院の代議 たのが早稲田。父の悲願日本 を、宿敵ジャージの息子が 父は愛情と魂のラグビー

グビーの黄金時代、大学選手 記憶ないまま一点差で惜敗し 権決勝開始五分で脳しんとう、

る。帰能時刻が迫るなか、能 がつかないままでは心が残る。 代軍は、戦わずして去るのは 忍び難く、城西軍もまた決着 こうしたギリギリの状況の

1

甲子園球児一第一号

歴史に見る 秋高の人物像

まわっていた。能代は、宿泊 手は能代チーム。しかし、決 は、大正十年八月十四日、秋 にしても費用の点で問題があ 勝戦開始時にはすでに五時を チームの捕手として出場した。 チームは十二。伊藤は、秋田 高校付近)で開催され、参加 中学と秋田商業の混成の城西 田市の楢山グランド(現聖霊 するにしても再度秋田に出る | え、伊藤の公式戦デビューは 一試合勝って決勝に進み、相 | 華々しいサヨナラホームラン | で城西軍の優勝となった。変 |の裏、城西軍も二者凡退した 則的なゲームであったとはい 攻の能代軍は初回無得点。そ が、その後の伊藤が左翼席に する大試合は始められた。先 的なルールのもと、雌雄を決 ホームラン。そのまま一対〇 た方が勝ちという極めて変則 中で、とにかく一点でも入れ

号」となった伊藤勝三は、明

秋田県の |甲子園球児第|

の合計二十三回となっている。 園出場は、春五回、夏十八回

秋田中学・秋田高校の甲子

高校で学んだ教科書十二冊、 より、氏が秋田中学、秋田南 参考書二冊を昨年十月、 昭和25年卒の熊地富士夫氏

るスミ塗りの教科書の存在で 学数学二」第一類五カ所、第 戦中、戦後の物資欠乏時のも す。また、戦後の物価の高騰 す。その中で目を引くのは「中 色の古色蒼然とした教科書で 南高校を卒業されたのですが、 のだけに藁半紙使用でセピア に入学、昭和二十五年に秋田 していただきました。 氏は昭和十九年に秋田中学 一部を消してあ た表紙の裏には、氏の字で「皇 が辛うじて判読できます。 …」とか「味方の斥候ガ…」 そうですが、「敵味方の両軍ガ 即時実行指示」とあり、これ によって生徒がスミを塗った



◎中学数学二·第二類(昭和 ◎中学数学二·第一類(昭和 価三十五銭)(中二) 十九年一月発行八八頁・定

と重なっていたが、その記念 城目で僧職)とバッテリーを オーシャンクラブで活躍後、 すべき大会に伊藤は築地俊龍 の後しばらくはチャンスがな あることは周知の事実だが、そ 校野球大会の準優勝チームで だったのであった。 (大正12年卒、立教大学、函館 になる大正十一年であった。 く、二回目の出場は八年ぶり この年は学校創立五〇周年 本校が、第一回全国中等学 業した伊藤は慶応大学に進学、 捕手として東京六大学野球リ

戦中戦後のスミ塗り教科書 ぶりも知られ、たとえば昭和 月九日、秋田県教学課各校に 軍事色一掃を指示。◎同年十 和二十年九月十五日、 昭和二十三年には十倍の三十 十九年三十五銭だったものが、 当時の記録によれば「◎昭

込みがあり、教育方針が百八 中学の教育レベルの高さは維 ちの苦悩が偲ばれます。 国再建」、「平和日本」と書き 戦後の混乱期にあっても秋田 レベルの内容だということで、 らも、秋中三年の「中学数学 十度転換した当時の秋中生た 持されたといえます。 三」は現在の高校で学ぶハイ このような世情にありなが

価四十五銭)(中二) 十九年四月発行八八頁・定

|子の年であったことからの命 号」の一人ということになる。 者として出場した。文字通り 名であったが、伊藤はこの年 の大会に主将、投手、四番打 ADOME」から「AKIT フォームの胸のマークが「Y の意味で、「甲子園球児第一 A」に変わっている。 なお、この大会から、ユニ 大正十四年に秋田中学を卒

> ◎中学数学三・第二類(昭和 ◎中学数学三·第一類 定価六十五銭)(中三) 五銭)(中二) 一十一年五月発行四九頁・ 一十一年五月発行六十頁 (昭和

円六十銭) (中三)

◎化学Ⅱ(昭和二十三年八月 ◎化学Ⅰ(昭和二十三年八月 発行二一二頁~四二九頁・ 定価三十五円八十銭)(高 円三十銭) (高三) 発行二一 一頁・定価三十二 銭) (高三) 行五三頁・定価十三円二十

〈参考書〉

◎新制微積分の初歩(牧書店 ◎物象(表紙なし) 昭和二十二年十月一六六 頁・定価五十五円)

きた。 | 月二十九日に横浜を発った船 自の目で見、肌で感じ取って せ、本場アメリカの野球を各 水原など戦前の日本野球界を 代表する選手たちも乗り合わ には、伊藤の他に宮部、山下、 アメリカ野球が伊藤に与え

九二八)、慶応野球部はアメリ カに遠征することになった。三 ーグ戦で活躍。昭和三年(一 |もいずれアメリカのようにな とファンの熱狂に驚いたらし た衝撃はかなり大きいもので く、若い頃から『日本の野球 ブルースやゲーリックの活躍 婚した静江夫人は、後年、「主 あったようで、昭和七年に結 人は慶応時代に渡米し、ベー

る甲子園球場が完成したのは

高校球児の憧れのまとであ

大正十三年である。干支が甲

組んで出場。

◎中学物象二(昭和十九年四 月発行一四二頁・定価五十

◎漢文三(昭和二十三年六月 ◎化学三(昭和二十二年六月 ◎化学二(昭和二十二年六月 ◎中学物象二(昭和二十一 発行一〇八頁・定価不明) 発行一六一頁~二五四頁・ 価二円九十銭)(中四) 発行八三頁~一六〇頁・定 三月発行一四二頁・定価 定価三円三十銭)(中四)

◎理科表(昭和二十四年度発

◎一九九九年 日本現代ガラ ◎二○○○年 雪と氷のデザ 展入選 ス展・能登島入選(石川)

カイ三入選(札幌)等です。

寄贈 ラス工芸研究所 卒業後、東京ガ

工学部金属系を

氏は東北大学

研究科卒業。現

ています。主な の賞を受賞され おり、展覧会、 導されつつ、ガ コンペ等で数々 の制作に励んで ラス工芸、彫刻 在、富山ガラス 造形研究所で指

◎一九九八年 ◎一九九六年 ものとしては 第三回入選) ラスの美展IN薩摩特別審 査員賞(鹿児島)(第二回・ 青森野外彫刻 第一回現代ガ

欠かせないものです。また、水

命を象徴するもので、生活に

間で良い関係を保つことはと に限らず自然と人間の営みの 私の中では「水」は自然や生

れるイメージで制作しました。

にあるように、水がめぐり流

〇二〇〇〇年 ビアマグラン インコンペ入選(石川)

はノンプロの東京クラブ軍の っている。 る』と話していました」と語 社会人になってからの伊藤

本郷仁氏より、 ス金属工芸作品 今年一月、ガラ していただきま 還流」を寄贈 昭和58年卒の のメッセージです。 その製作意図等についての氏 美しい、すばらしい作品です。 感と、青のグラデーションの トルほど、ガラス特有の透明 作品「還流」は高さ一メー

の教育機関に勤めており、ガ ましたが、この度私の作品寄 ラスの工芸品や彫刻等をつく している次第です。 贈を受けていただき大変恐縮 れ母校にもご無沙汰しており っています。卒業後秋田を離 富山市にあるガラス美術工芸 う路に進んでいました。私は 考えていたのとはずいぶん違 さてこの作品ですが、 「気がつけば、高校時代に

一とができればと思います。」 ルと共に歴史を築いていくこ ように、人間も自然のサイク る状態であるように願い形に イクルがバランスよく調和す しました。水がめぐり流れる 生活の中で、自然と人間のサ ても大切です。 どんどん便利になってゆく



捕手を務め、昭和六年の都市 | る。また、この年は、強打者 参加、大いに名声を馳せた。

一対抗戦では優勝も経験してい も全日本チームの一員として した全米選抜軍に対し、伊藤 ゲーリックらを擁して初来日 (以下次回へ続く)

百三十周年記念事業特集 本年 立百二 は 秋 田 高 周 校

第

東根小屋町 (現中通六丁目)、 あって同年九月一日、秋田市 日新学校内に洋学校を増設、 学校を設立した。当時の目ま ぐるしい教育制度変動の中に 八七三)、秋田県は初めて官立 の発布を行ない、明治六年(一

時の政府は学制 これが本校の濫觴である(『秋 田高校百年史』秋田高等学校 要覧)。

秋田高校同窓会は学校当局と 画を次のように進めている。 連動の上、記念事業の展開計 それから数えて一三〇年、

白三十周年記念行事は 五月からスター

文化交流配念フォーラム

午前十一時

陸上競技場

(サッカー場)

ところ 平成十五年五月二十九日 午後一時三十分 き

秋田県民会館 埋めた記念論文のタイムカ 容 二〇周年で当時の生徒が

である。 については生徒会で検討中

生徒、PTA、同窓会員

記 念招 待 試 合

記 演

硬式野球場

4サッカー 午前十時 対 大体育館 対 (雨天中止あり) 秋田西高校 秋田南高校 本荘高校

ところ 平成于军车五月三十一

①開会式 本校各施設 日 \pm

②硬式野球 対仙台第一高校 午前九時三十分、 育館で開催 本校大体

午前十一時

の表彰、卒業生パネラーに よる記念フォーラム。詳細 プセルを堀り出し、入賞者

秋

講演者 長・昭和36年卒) 佐々木毅氏(東京大学総

式典当日*、* 分開始予定。 午後十二時三十

演奏者 期大学教授。

悉

A、同窓会員の観戦を期待し ている。 全校生徒は応援参加、PT 記 念 式 典

き

参加者 二、〇〇〇人の予定 ところ 平成十五年九月 全校生徒·教職員全員。P 秋田県民会館 午前十時開始 TA、同窓会員、来賓は案 日 月

記念 講 演

ま)。

内状送付、出欠をとる。

式典後、午前十一時から約

寄贈ピアノ披露を兼ねて

ピアノ独奏 鳥井俊之氏 昭和56年卒) (聖霊女子短

年に す لح ピアノ伴奏 フルート独奏 き 大谷祥子氏 ハルト会員、

あ

楽団、昭和52年卒) 記念祝賀会 潤氏(NHK交響 (秋田ゲープ 昭和61年卒) 会費 参加者 ところ 来賓に案内状を送付、出欠 同窓会員、PTA、教職員 午後二時開宴 平成十五年九月一 秋田キャッスルホテル 五〇〇人の予定 五、000円

の確認を行なう。

概

トレーニング場建設

望が女子トレーニングルーム 橋幸臣校長から真先に出た要 る学校当局との初会合で、高 (部室) だった。 三〇周年記念事業に関す

和55年卒)の「提言」の中に邊 (旧姓梅森) 栄利子さん (昭 行の「秋高同窓会だより・第 六十九号」に寄せられた、渡 平成十四年十二月十三日発

勉強できる彼女たちにカン 思い出し、恵まれた環境で パイ…」とある(原文のま 替えていた私の高校時代を ら、こそこそと体育着に着 めでとう。小さくなりなが するとのこと。やったね。お 運動部更衣室が立派に完成 百三十周年記念事業で女子

四割に増えている実情からみ か、渡邊さんの「提言」がそ れば、生徒も学校当局もいか にこの施設を待ち望んでいた この十年間で女子生徒が約

である。 年度には着工の予定で進行中 れを裏付けているといえよう。 既に県の認証も終えて、新 いる。

ピアノ寄

披露するよう手配を進めてい ことにし、記念式典の会場で グラウンドピアノを寄贈する 学校当局の要望に沿って、

> たという。 「もうだめだね」と宣告を受け なる。つい最近の調律では、 和五十年代半ばの購入という から、かれこれ二十年以上に 現在使用中のピアノは、

平成七年度、 吹 奏 楽 中央地区大会 部 る音楽部の最近の活躍をみる

そんなピアノで勉強してい

はじめに

·平成十三年度、全日本吹奏 楽コンクール秋田県大会、

平成十四年度、全日本吹奏 念願の東北大会出場は実に 楽コンクール秋田県大会、 金賞。同、東北大会、銅賞。 一十年ぶりのことだった。

·平成十二年度、AKITA ヴォーカルアンサンブルコ 合

などの輝かしい実績を挙げて ・平成十三年度、県青少年コ 畑澤 紘。 ンクール声楽、最優秀金賞 ンサート、金賞。

みる秋田高校の校史、

、即ちバ

計(円) 600,000 130,000 200,000 ,050,000 720,000

100,000 760,000 90,000

12,308 12,000

10,000

8.000

18,000

4,000 3,500 213,000

5,555 11,630,000

一二〇周年以降の十年間に

性能のピアノは在校生に喜ん う。それだけに、この度の高 ピアノを弾く生徒は多いとい でもらえる寄贈といえよう。 聞けば、音楽部員に限らず

秋高130周年記念事業金額別納入数

人数(人)

4 38

6

1 2,326

(平成14年3月25日~平成15年2月28日)

額(円) 200,000 130,000

100,000 50,000 30,000

25,000 20,000

15,000 12,308 12,000

10,000

6,000

5,555 5,000

3,500 3,000 2,000 1,000

本校第一回卒業(明治十三 の町田忠治を初めとする

日 \pm

一(昭和33年卒)

雄

周年記念同窓会員名簿 八号の発行計画について 藤

名簿・広報の四つの常置委員

会が組織されたのであった。私

は百十周年記念事業実行委員

この常置委員会の中の「新」

会の中の広報委員であったが、

は、このときである。

昭和六十二年、名簿委員会

作ろうということになったの で同窓会員のデータベースを れたのだった。われわれの手 名簿委員会に入るよう要請さ

いる。かつて創立百十周年を一ほぼ半年遅れて平成元年三月 して発行されることになって 窓会の周年記念事業の一つと 窓会員名簿第三十八号が、同 本校創立百三十周年記念同 年にあたる昭和六十三年度に 簿委員の協力で創立百十五周 発行予定の名簿第三十五号が、 にコンピュータが導入され、名

正を経て本年八月には完成の 四十三人の列伝であり、原稿 も終了、これからの入念な校 れの人物に精通しておられる がまとまった段階で、それぞ 式典参加者全員に配布の予定。 運びとなる。九月一日の記念 お歴歴のお手を煩わした校閲

したものを作成すべく現在準 校歌・応援歌・部歌を収録

創立一三〇周年記念誌

(二二年から一三〇年までの校里)発刊

ブル崩壊、世情騒然など激変 てからの補稿もあるが、八月 な記録である。新年度に入っ の中における本校雄姿の忠実 念品として配布される予定。 完成、九月一日の記念式典記 記念CD作成

備を進めている。

ることが想像できる。 同窓会員名簿第三十八号(平

66,000 15,000 930 沿革概要、歴代同窓会長、同 っている。購入希望の申し込 県別索引付きで、予約頒価四 広告ページ、などに総索引、 み欄は、データ確認カードに 千円、発送手数料五百円とな 簿(全日制、定時制、通信制)、 窓会会則、役員名簿、会員名 点描、懐かしの旧校舎、母校 同窓会記念事業写真、現校舎 歌・校友会歌の楽譜と歌詞、 あいさつ、学校長あいさつ、校 項目別にあげると、同窓会長 型)約千ページで発行される。 成十五年版) は、B5版(縦 データとが渡される。印刷完 印刷用データとその打ち出し 返却される。事務局における 月末日となっているのである。 ると印刷会社には六月上旬に、 データ最終訂正作業が完了す に送られ校正され、事務局に 了が九月上旬、発送完了が九

このときは、業者のコンピュ れたのが第三十四号であった。 答申にもとづき、企画・財政・ 検討委員会がつくられ、その 窓会の活性化をめざして組織 なかった。この年の十一月、同 われ同窓会には渡してもらえ ータのデータはもちろんわれ 業務を業者に委託して発行さ 作成を含むすべての名簿印刷 祝った昭和五十八年にデータ ある。 や会員名簿のみならず、同窓 会運営の要となっているので でつくりあげた会員データベ いる。そして同窓会員の協力 号が発行され現在にいたって 創立百二十五周年の第三十七 創立百二十周年の第三十六号、 に発行された。この名簿以後 ースがその目標どおり、いま

会員データベースの現状

ト台が十六学年、六十パーセ 一を筆頭に九十パーセント台が 住所判明率を昭和2年卒 (九 明者二万七百九名。住所判明 が二十一学年、七十パーセン 九歳)までの七十六学年を学 十四歳)から平成14年卒(十 名、逝去六千三百五十五名、 ント台が九学年、残りが五十 年別で見てみると、昭和16年 率は七十四パーセントである。 名 (海外百六十八名)、住所判 パーセント台以下である。 十六学年、八十パーセント台 卒同窓会の九十八パーセント 現会員数二万七千八百九十九 卒業総数三万四千二百三十四 登録状況は次のとおりである。 本会の会員データベースへの 平成十五年二月十七日現在、 と発行名簿の内容

さまざまな要因がからんでい 年が集中している。ここには 三十歳台と四十歳台に低い学 低いところもあるが、概して 高齢の八十七歳以上には、

ある。

七社であった。落札したのは 説明会が、同窓会側から井上 にある「株式会社JAプリン 秋田市新屋の西部工業団地内 に関する入札希望者に対する 時より、同窓会員名簿の印刷 十五年一月九日(木)午後 最終広告があるように、平成 トあきた」(代表取締役社長木 会館で行われた。参加業者は 札に必要な印刷条件が話され 者は七社あった。そこでは、入 副会長、斎藤事務局長および (月) 午後一時より同じく同窓 た。入札は同年一月二十日 会館にて行なわれた。参加業 工藤の三名が出席して、 「印刷業者の選定について」の 名簿印刷の入札について 同窓会だより第六十九号に

名簿発行スケジュールと

村一男氏)であった。

|願いたい。その際、「ふりがな」 | 員にお願いしたい。ぜひ、記 されたデータは年次名簿委員 もちろん、カードが到着しだ も苗字、名前ともにきちんと 訂正等を行い、カードを返送 ド」は、本紙に同封され全会 らありがたがられるだけでな データ校正をする名簿委員か 早ければ早いほど歓迎である。 年四月三十日を厳守願いたい。 ドの返却締め切りは平成十五 間違えるはずがない場合でも 書いて欲しい。誰が読んでも 入データを確認の上、記入・ 員に対して送付された。全会 く、ミスも少なくなる。訂正 におよばずである。確認カー きちんと書いて欲しい。まし い訂正作業が開始されるから て、間違えそうなものは言う お願い 一会員名簿データ確認カー

70 e V

よ

本

校

0)

出

番

!!

型える。学校当局や同窓会の | 極的な参加を期待している。 | 傑 一〇周年、本荘高校一〇〇 | に忙殺されることになる。 | 大 一〇周年、本荘高校一〇〇 | に忙殺されることになる。 | 大 本年は、全国でも有数の伝 | のの、なんとか早めに達成を | 本 本年は、全国でも有数の伝 | のの、なんとか早めに達成を | 大 本年は、全国でも有数の伝 | のの、なんとか早めに達成を | 大 本年は、全国でも有数の伝 | での、なんとか早めに達成を | 大 本年は、全国でも有数の伝 | での、なんとか早めに達成を | 大 本年は、全国でも有数の伝 | 本 本年は、全国でも有数の伝 | を 本年は、全国でも有数の伝 | での、なんとか早めに達成を | 大 本年は、全国でも有数の伝 | を 本の、なんとか早めに達成を | を 本の、なんとかりに達成を | を 本の、なんとかりに変しなる。 | を 本の、なんとかりに変しなる。 | を 本の、なんとかりに変しなる。 | を 本の、なんとかりに変しなる。 | を 本の、なんとからなる。 | を 本の、なんとかりに変しなる。 | を 本の、なんとかりになる。 | を ・ 本の、なんとからなる。 | を

回募金状況報告 層のご協力を

金目標達成へのご協力をお願月末現在)を掲載、併せて募 記念事業の募金中間報告とし 十九号では、創立一三〇周年「秋高同窓会だより」第六 え(いずれも平成十四年十納入状況及び納入者名簿 これからの方はお早めに ただき、未納の方はなるべくを掲載しましたのでご確認いと、今までの納入合計(別表) 一いします。 |早目に納入されますようお願 いしてまいりました。 この度は、その後の納入者

成十五年二月二 大兼 高 高 橋 信 光 美 信 光 金 月 一十八日までの 日から

昭8 大津英男、鈴木文四郎、昭10 江畑省三、田部精一、四戸晶、乳井春生田部精一、四戸晶、乳井春生田部精一、四戸晶、乳井春生田部精一、四戸晶、乳井春生秦静孝 鈴木弘、 細

歴、三嶋信雄、吉田玄た、菅哲郎、藤田春雄、 大、菅哲郎、藤田春雄、 大、菅松門、岩城勇、小 鷹谷信雄、

藤邦雄、前田惠二郎、山信田昭17 川尻茂三、照井力、内藤原稔、松本一郎、三村一雄藤原稔、松本一郎、三村一雄藤原稔、松本一郎、三村一雄田6 伊藤正、菊谷高、沓沢 斉藤久美

昭18 金澤道雄、斎藤信次郎、 **昭9** 伊藤豪、植田正夫、大 泉**6** 大隅繁吉、工藤耕一、 泉香、大隅繁吉、工藤耕一、 京田隆声、加賀谷金一 世藤豪、植田正夫、大 京本公、 京藤俊一、菅

岡正樹、三浦英春、横山樹静、竹省吾、豊島司、中山將、5、土屋博、12、土屋博、12、土屋博、12、土屋博、13、土屋博、13、土屋村、13、土屋村、13、土屋村、13、土屋村、13、土屋村、13、土屋村 **昭**渡辺成考

郎

松橋庸之、

西田幹、

山本

、鈴木牧雄、寺田曹州地得弥、桜庭中、佐

豊

義主	岡月	慶均川	以	藤	、 山流	紀今	重	、 雄1	平 。
秋高130周年記念事業寄付 年次別集計 (平成14年3月25日~平成15年2月28日)									
年次	人数	金額(円)	年次	人数	金額(円)	年次	人数	金額(円)	[
T 14	1	3,000	S 24	0	0	S 50	42	250,000	,
T 15	0	0,000	S 25	89	576,000	S 51	42	236,000	1
			S 26	92	596,000	S 52	25	133,000	1
S 02	0	0	S 27	100	640,000	S 53	42	218,000	月
S 03	2	10,000	S 28	104	694,000	S 54	25	150,000	1
S 04	4	18,000	S 29	147	964,000	S 55	23	126,000	_
S 05	6	55,000	S 30	111	753,000	S 56	22	130,000	2
S 06	5	30,000	S 31	103	666,000	S 57	19	98,000	E7 E2
S 07	8	80,000	S 32	83	530,000	S 58	23	135,000	Ę
S 08	15	185,000	S 33	122	1,038,000	S 59	30	177,000	=
S 09	10	57,000	S 34	79	598,000	S 60	24	113,555	_
S 10	11	90,000	S 35	84	703,000	S 61	26	141,000	l –
S 11	16	125,000	S 36	96	628,308	S 62	23	122,000	
S 12	22	178,000	S 37	65	472,000	S 63	22	108,000	
S 13	20	160,000	S 38	54	360,000				
S 14	12	120,000	S 39	89	614,000	H01	21	111,000	1
S 15	41	249,500	S 40	69		H02	16	80,000	1
S 16	43	313,000	S 41	69		H 03	17	96,000	1
S 17	31	235,000	S 42	77	505,000	H 04	28	139,000	ı
S 18	43	345,000	S 43	70		H 05	25	138,000	Į ⋅
S 19	50	525,000	S 44	41		H06	18	93,000	ı
S20-5		515,000	S 45	52	320,000	H07	34	173,000	Ιı
S20-4		372,000	S 46	60	355,000	H08	27	131,000	1
S 21	27	151,000	S 47	35		H 09	22	114,000	1
S 22	29	237,000	S 48	45		H 10	16	74,000	1.
S 23	68	518,000	S 49	53	313,000	その他	25	335,930]

総合計 3,195人 22,048,293円 ※その他…旧職員·現職員·各団体

」ざいました。 桃井苗子

平平 ・ 大井二郎、 ・ 大井二郎 ・ 大井二郎

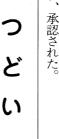
総会に先立って、

伊藤隆氏

定の要請があった。

地 校 Ø 近

一十二人が出席して開かれた。 総会では、渡邊良宏支部長 秋田高校同窓会近畿支部の 「かつては四百三十人もい 「グリーンルーム」で、 大阪市梅田の阪神デ



認。六月に幹事長が交代、

昼休みや放課後に、級友の盛 ボート・柔道などの試合が

秋田高校80期 3Gクラス会

├球・サッカー・ラグビー・2、毎年秋になると、野球・

平成5年卒

期生

加

恩

師囲

み思い出

度の決算、

長と岡野文秀教頭が百三十周 年記念事業及び母校の近況を 健同窓会長・斎藤広孝事務局 また、本部から出席の丸山 神戸市の開業医・堀松 の四種目で一位となって「総 球・サッカー・ボート・柔道 よく、 大な声援を受けて戦われた。 柔道には職員室チームも出場

わが80期三年G組は結束力

創立八十周年の年に卓

の思い出で盛り上

したときには、寝業師と称さ

柔道で職員室チームと対戦

れた恒例のクラス会では、こ ニューグランドホテルで行わ

今年も十一月九日にアキタ

| 携との関連における茨城秋高|| 告。本部の小玉副会長からは 全員会費制導入課題などの報 総会では、片岡会長から、 感銘を受けたのであった。 から「現代の日本を思う」 小玉副会長が要請

佐竹担当委」設定を

茨城秋高会

午後三時、霞ケ浦に面した土平成十四年十一月十八日(土) 浦市の老舗料亭「霞月楼」で 総会を開催した。 聴、感銘を受けたのであった。の演題で実に有益な講演を拝 空 (東京大学名誉教授・昭和26年

氏まで、 昭和十七年卒の田村鉄男氏か 地元では片岡保夫会長以下、 副会長、小林良弘常任理事、 ら昭和六十三年卒の能登屋信 参加があった。 当日は本部から小玉得太郎 各年代の会員十六人 会設立の経緯、そして茨城秋 高会に「佐竹担当委員会」

れ、



われているだろうか。

五十年前の私たちの時代に

級対抗」というイベントが行

現在の秋高でスポーツの

学

の少子化傾向とその対策」と 喬氏(昭和16年卒)が「最近 合優勝」の栄に輝いたのであ る。

懇親会には、呼びかけに応

れを実現してしまったのが彼 の全員から厳命されたが、そ 絞めて失神させろと、クラス せ、つまり相手の先生の首をれていた熊谷君が、必ず落と

ほとんどの競技に出場した

秋田工業、秋田商業、本荘高 じて、従来から交流している 題して講演した。



担任の菅原繁雄先生は、

設 またの機会を約しながら散会 れ、最後に校歌斉唱をもって の情報交換で時の経つのを忘 続いての懇談会ではお互い

首は準備なさった本格的なも

ことをお詫びします。

首

て先生は即興の歌を示される 披露なさった。「腰折れ」とし

に授業をして下さった。

さらに先生は和歌三首もご

ことがあったが、この夜の三

で校歌を斉唱して散会した。 いと考えている。最後に全員 事前準備を十分にして行きた としては、今後、参加者が増 親しく懇談していた。執行部 もと始まったが、来賓も顔見 えるように知恵を出し合って、 知りが多かったこともあって、 (昭和34年卒)の司会の

況

ts.

聞

聖霊短大付属高校、

由利高校

同窓会支部長も参加。渡邊

80期3G

クラス会

80年

に総合

学級対抗の思い出語る

校の三校のほか、五城目高校、

先生が敗戦後にシベリアで体 を交わす席もその一つであっ 五十年前に担任した生徒と酒杯 というか機会が必要のようで、 って走ってきた人生を、改め て見直す気になるのである。 た。そう考えてわれら教え子 先生は来年からこの会で、

験した抑留生活を初めて語り

鈴木肇、高崎幸一、西村公男、

畠山卓三、藤沢浩。(畠山記)

MFT秋青 i AE i XL田

Tomo@muf.biglobe.ne.jp LO一八一八四五一〇三三五 一一八一八四五一三三四一 Homo@muf.biglobe.ne.jp

顧みるかな 思い静かに 歩み来たれる おのがじし

れた過去を見つめるのには、 先生にとってもご自身で歩ま 経済の高度成長の波に乗

公郎、 男、児玉和夫、桜田昌、佐藤熊谷廣、小泉金次郎、小島壽 方宏、 (出席者) 有、 7宏、金子吉雄、工藤幹男、r、秋山優、出一夫、海老沢出席者)菅原繁雄先生、赤沼 佐藤康也、新出金市、

たくさんの本が出ているが、先悲惨な生活と労働についてはシベリアでの捕虜としての たいし、期待したい。 生に与えた意味を、 の実態と、それらが先生の人 働と寒さと貧しい衣食住、 生の感性に捉えられた強制労 ぜひ伺い

そ

、三〇〇年の歴史の丘

株式会社なつみワールド

代表取締役 佐々木 克巴 URL:http://www.mutumi-w.co.jp

うちやま眼科医院

長 院

村

〒010-0342 秋田県男鹿市脇本脇本字上野110-4 TEL 0185-25-2212 FAX 0185-25-2700

TEL: 0182-56-4111 FAX: 0182-56-4112

長 兀

F 010-0341 男 鹿 市 船 越 字 前 野 98 - 90 TEL(0185) 35 - 4616

緑空間を創造し潤いとやすらぎを求める

秋田市山王三丁目 7 番 1 号 瀧不 動産本社ビル内 TEL 018-863-3326 FAX 018-863-3113

公之(昭和54年卒)

三浦クリニック

秋田市旭川南町12 - 23 TEL 018 (831) 1316 FAX 018 (831) 1314

伸司

俊

〒014-0012 大曲市幸町 4 - 23 - 2 TEL (0187) 86-3280 FAX (0187) 86-3281

伊勢法律事務所

〒011-0911 秋田市飯島飯田水尻299-56 TEL 018 (846) 8877

庸

(昭和54年卒)

弁護士 伊 (昭和53年卒)

秋田市八橋本町3-7 TEL (018) 823 - 0744 FAX (018) 863 - 5575

昌弘

井 哲

禰宜

秋田県護國神社

秋田城跡鎮座

FAX (○一八)八四五—四二 TEL (○一八)八四五—○二 秋田市寺内字児桜八十一 八〇

亀 四

神 社

古

王

長 山博之

〒011-0942 秋田市土崎港東三丁目 2 - 24 TEL 018 - 880 - 5252 FAX 018 - 880 - 5253

平成五年卒業生同期会が 語 る 又井歯科クリニック

咲いていた。途中、恩師一人 恩師十一人と同期生二百七人 出や近況報告に、随所で花が は恩師を囲んでの当時の思い が参加、大盛況だった。 ひとりからメッセージも 一さんの乾杯で開会、その 当時の生徒会長、五ノ井 ホテルで行われた。当日は 月二日に秋田市の秋田ビュ あさひかわ歯科医院

間はあっという間に過ぎ、会り上がりを演出でき、予定時 がお開きとなったあとも、 田市内のあちこちで二次会、 らしい司会ぶりで、 生の藤田智彦さんと千田まゆ ナウンサーとなっている同期 わさだった。 子さんにお願いしたが、す 一次会……が催されたとのう 当日の司会は、テレビ局ア 一層の 秋

ことや幹事代表をやった私が かった(喜ばしい)こともあ 加した同期生が予想以上に多 迷惑をかけた点が多々あった 不慣れだったことなどで、 運営面では、当日急きょ参 開会まで長時間待たせた

内科・外科・小児科・小児外科

たむらクリニック

広美

(昭和54年卒)

児玉歯科医院

(昭和54年卒) ₹010-0341

多 な タキ造園土木建設

取締役副社長 佐藤

(昭和53年卒)

谷の朝日生命相互ビルで開催

表して柳原俊策氏 長)の卒寿を祝し、

(S 23 会員を代 後復活した水泳部初代担当部

祝賴雲東大石正雄先生卒寿

思うので、お手数でも格段の

ることを記念し、平成六年一

今回は、卒業二十周年とな

を味わうなど、九年ぶり、

代表取締役

を味わうなど、九年ぶり、あ代にタイムスリップした気分

以来、九年ぶりの開催で、

後に全員で校歌を斉唱し、万しみ、大いに盛り上がった。最るいは二十年ぶりの再会を楽

スルホテルで開いた。

昭和五十八年卒同期会は一

ーチした。また、卒業アルバ

ムのスライド上映で、

総合建設業

木 株式会社 沢 木 組

木 則 明

(昭和53年卒)

一日、秋田市の秋田キャッ

同期生百九人と恩師八名が出

一協力をくださるようお願

関係各位に調査要請があると

なお、名簿整備について、

申し上げておく。

初めに、大石正雄先生

恩師・会員十八名の参加のも

旅館栄太楼において、

五年二月二日 (日)

秋

紫水会臨時総会は、平成十

紫水会が臨時総会開く

討、新役員のもとで、当面は代に引き継ぐ方策を主題に検

選ばれ、

各項目はすべて承認

業 20

周

同58 期年 会卒

同

期生百九人が参

加

事に進藤清氏、門間英也氏が

算、理事選任等を検討。新理

菅原(久)氏)に黙祷を捧げ 拶に始まり次に物故者(菊地、

た後審議事項に移り、会計決

会員名簿の整備を急ぐことに

(S25) の乾杯で懇親会に移

最後に全員で校歌・校友

東京から参加の北川和雄氏

辞に続いて、参加会員の近況 セージを披露。大石先生の謝 両氏から届いたお祝いのメッ 治 (S26)、大野久二 (S30) 会に参加できなかった佐藤英 祝辞とともにお祝い品を贈呈、

はかり、紫水会の伝統を次世

総会では、役員の若返りを

相

談

役

S 40 S 25

S 35 S 34 (S 33 S 26

幹 代表幹事

会

長

中 会 汀友会を幹事に開く

再来の希望を

ーは現在約六 会ξのメンバ 秋中14日 れているが、 人生を、青春 お互い生ある 既に十五名が 他界している。 十八名登録さ 協働大町ビルを会場に昭和一 平成十四年十一月二十二日、 同期会県外昭和26年卒県外

十六年卒同期会総会を開催し

本年は例年より寒さが早く

から三氏が参加

一月十日

毎に当番制にしているが、今開催案内は毎年幹事が学区 そう思っている。 ると、私たちは無言の中にも 共に高らかに杯を上げ偲ぶこ もって生きようと、 ~14日会』の原点であ 物故者と

決まって正月十四日に東京で

開催している。昭和三十六年

月十四日に第一回を、日比

京地区間に居住する昭和21・

秋中14日会~は宮城~中

22年卒同期会の名称で、毎年

一タワーに定着している。二十 | 三朋君のお世話で、新宿のホ 年は土崎地区の汀友会が当番 テル・センチュリー・サザン 幹事に当たった。会場は加藤

日会』の二十周年を記念し、 全国の同期生に呼びかけ、目 昭和五十六年には | 秋中14

> 思われてなら 昨日のように れたことが、 が参会し、盛 大盛況に行わ に上る同期生 の恩師と百名 今は亡き三人 催した際は、 菊夫君の司会進行のもと、舘参加勧誘があった。会は佐藤 | 男君が、遠路馳せ参じてくれ 典君の会計報告に続き、蛮声 記念の説明と、祝賀式典への 山俊治君の開会の挨拶、金沢 た。彼からは秋高百三十周年 から秋高同総会幹事の佐藤鉄 四名の出席者の中には、 応援歌や 土田和

> > 県民歌でクライマックスに達 し盛り上がった。 となった。

属小と決まり、来年また元気 拶で終幕となった。次回 の締め、藤本肇君の閉会の挨 間の都合で野口力君の手拍子 日会、当番幹事は女子師範付 で再開することを誓って散会 宴たけなわではあったが、

に臨んだ。 続いて、

告があり続いて伊藤、小川の 生模様を語り合い、又将来に 希を迎えたことから諸々の人 混じえてのスピーチを頂いた。 両氏よりも在校時代の回顧を 山下氏から関東地区の現況報 の発声を兼ね遠路より来秋の

総会日程を終了し、 会務報告を行ない 記念撮影 間の愉快な時間を過ごした。関する話題にも及び、約三十

懇親会が始まり最初に乾杯 での二次会に向かい大いに気 同ビル内の居酒屋、魚河岸、 なった閉宴後約半数の会員は

えることとなり、最後に近間 を祈念し校歌斉唱しお開きと 者が母校の発展と会員の健勝 憲政君のタクトにより全出席 とも忘れての宴も大団円を迎 外の寒さと時間の過ぎるこ

懇親の宴は、会員諸兄皆古 炎を挙げ、

再開を約して散会

大きな拍手を浴びていました。 所属する職場の応援を受け、 の自己紹介では、それぞれが ていました。また、新入会員 場をこえた話題で盛り上がっ り、各テーブルでは年代や職

最後に、恒例となった校歌

副会長には高野氏 秋田キャッ六時から、 会員、顧問 されました。 城会が開催 成十五年秋 において平 スルホテル 田市役所羽 (金) 午後 当日は、

百四十五名 わせて約二 特別会員合

氏を迎えての進行で当日は大

総会は、小泉春雄会長の挨

に盛り上がりがみられた。

周氏、仙台市の小川晶氏の三 山下直樹氏、札幌市から伊藤

席をいただきました。 山会長、斎藤事務局長のご出 同窓会からは丸 の出席があ 、学校か

か若干少ない出席者となった。 **周年記念祝賀会を催したせい**

県外からは、関東地区代表

秋田市役所 羽 城 会

ら岡野教頭、

で、名残惜しくもお開きとな りました。

会長に平山武志氏 (38卒)、 承認され、 告や平成十五年予算 (案) 総会を閉じました。 を選出、事務局を引き継 副会長に高野悠紀雄氏 (39卒) 引き続き懇親会に移り、 役員選任では、 平成十四年決算報 いで 新新が

藤会長(36卒)の挨拶で始ま

居酒屋 ひのくるま

〒010-0951 秋田市山王6丁目2-10 大丸ビル1F TEL 862 - 8681 東京海上代理店

プロー・・・ 〒010-0001 秋田市中通27目5-21 TEL 832-9229

旧摩房町

誠

(昭和53年卒)

歯科医院

正明

(昭和44年卒)

佐藤誠保険サ

達

Creative Life 💶

議長(40卒)の中締めの乾杯

斉唱とエールの交換で秋高魂

高橋智徳市議会

代表取締役 淡路孝治 (昭和44年卒)

〒010-0802 秋田市外旭川字三後田266-1 TEL:018(868)5352 FAX:018(868)5348 E-mail:creative@chive.ocn.ne.jp

杯の音頭により歓談開始とな

続いて、丸山同窓会長の乾

信頼を大切にする

をいただきました。

進学状況などを交えてご挨拶 教頭から最近の学校の様子や

次に来賓を代表して岡

港町内科皮膚科 內 ₦鈴 木 信 愛 皮膚科鈴木あけみ

胃腸科・循環器科・皮膚科

小野寺清先生からあいさつを

さつで開会、恩師を代表して

できなかった同期生から、

できなかった同期生から、夏なお、今回出席することが

歳三唱で閉会した。

の開催を望む声が多かったこ

幹事代表の猿田仁君のあい

していただいたあと、昨秋横

浩郎君の音頭で乾杯、出

催する予定(八月十六日、 催する予定(八月十六日、会とから、今夏にも同期会を開

でいる。

〒011-0946 秋田市土崎港中央6丁目13-25 TEL 018-845-1482

高橋医院

昭博

(昭和44年卒)

平鹿郡増田町本町49-1 TEL 0182-45-2363

株式会社北日本リースキン

(昭和四十四年卒) Œ

FAX ○一八 (八六三) A TEL ○一八 (八六三) A 秋田市八橋字下八橋一九一

秋田市千秋矢留町 6 - 12 TEL 018 (832) 2438

臨海食品協業組合

理事長

(昭和44年卒)

十五回 卒 業

平成15年度 大学入試 出 願

(現役、前



ほしい。それが確かな自分を を心がけてほしい。」との励ま 修めて世のため尽くす』こと れやかな姿が印象的であった。 しの言葉があった。 て、校歌にあるように、『己を 創りあげる基盤になる。そし 他への思いやりを忘れないで 授与された。緊張の中にも晴 しい時代であるが、何よりも との代表に高橋幸臣校長から 人ひとりを呼名し、クラスご 続いて校長の式辞では、「難 また、在校生を代表して生 卒業証書は、学級担任が ーを結んだ。 の期待をこめて、別れの言葉 みを進めてほしい。」と後輩へ を意識して百三十年という三 皆さんには『秋高との共生』 位置付けた。最後に「後輩の 残して式典は終了した。 世紀をまたぐ秋高の伝統の歩 間の創造と自負している。」と 時代のニーズにリンクした時

けるものにしていくことを誓 主自律の体現が求められると 徒会副会長の上村典弘君が、 います。」と力強く送る言葉を いう伝統を受け継ぎ、より輝 「学校生活のあらゆる場面で自 | 内のあちこちで、先生方や後 の端を述べあった。また、校 が渡され、互いに万感の思い 輩たちといつまでも言葉を交 おいて各々担任から卒業証書 わし合う卒業生の姿が見られ この後、各ホームルームに

続いて前生徒会長の黒木力

活

動

は

2 3

平成十四年度同窓会

入会式

広報委員会

市役所羽城会

(

れからの有りようを方向づけ

た。さらに学校生活に立ち返

り、共生の時間を創造してい

るのは『他者との共生』であ

「二十一世紀に求められ

かなければならない」とし、こ

てた本校のリサイクル活動は、 り、一地球との共生に焦点をあ

ある。 生の出願の増加などが要因で ンター試験利用の拡大、過卒 き続き過去最高となった。国 八七%にあたる三〇五名が受 月十八・十九日の両日にわた 公立大志向、私大・短大のセ 〇二、八八七人で、昨年に引 験した。全国の受験者数は六 って実施された。秋高生の約 今年度のセンター試験は一

五回秋田高校卒業式が挙行さ

去る三月一日 (土)、第五十

演奏と満場の拍手を受けて卒 式の言葉」の後、吹奏楽部の 業生は退場、清々しい余韻を ほたるの光・校歌斉唱、「閉 は下がらないと見ている。生 徒諸君は、二次個別試験対策 大学・学部のボーダーライン ても、秋高生が受験する難関 点の五七三・九点とよく健闘 げた中で、本校は前年比+一 〇点)では、全国平均は三年 上がった。五教科総合(八〇 均点が下がり、英語が大幅に した。全体の平均点が下がっ の進学校が軒並み平均点を下 連続で下がったが、東北地区 語ⅠⅡ・数ⅡB・地理Bで平

センター試験の結果は、国

見せている。

出願状況は別表のとおりで

会計長

F

三浦 菊池 島田

F

3

秋田県庁支部総会

3 .

秋田高校卒業式

大館支部総会

25 21

校史委員会

19 12

年次名簿委員会議 財政委員会

仁賀保地区支部総会

この五人を中心に、平成-

※15年度 9 クラス (350)、 14年度10クラス (396)

援をお願いするものである。 いる。同窓生諸氏の強力な応 ようと最後の力を振り絞って 後輩たちは、初志を貫徹し

鎌田 史郎S28

富之亟S18

児玉 精一S43 佐々木照雄S205

貞 男 S S 12 32

秀男S17

全国大会の成

学校賞 (絵本部門) 武蔵野人間学大賞

俳句部門 **優**良 入 選三A三浦 賞三A山方 朋子 遙

短歌部門

講座を経て、最後の頑張りを

学である。秋田大のうち四九横浜市立・都留文科の公立大 加した。立命館・東京女子・ で、中央・立教・早稲田で増 法政・明治は前年並みの出願 名が医学部である。私立大学 学芸・一橋・東京外国語・京 増加したのは横浜国立・東京 潟・千葉などは前年並みで、 道・東北・秋田・筑波・新 えたことである。来年度から 学や私立大学で若干出願が増 ある。今年の特徴は、公立大 した。慶應義塾・青山学院・ は昨年並みの六一九名が出願 都などの国立大学や東京都立・ 志向は依然として強い。北海 する傾向が見られる。首都圏 担増となる浪人を避けようと 科七科目を課すため、科目負 国立大学でセンター試験五教

> 期待したいものである。 俊敏で的確な判断力を大いに

哀

悼

日本で減少した。少子化の傾 が受験する大学は難化安定で ると言われているが、秋高生 向があり、大学が易化してい

2 月

4 月

佐々木義弘S19 伊藤 重晴S14

10 月 9 月 8 月

全国高等学校文芸コンクール 佳 作三H佐藤香菜子佳 作三A阿部 郁美優秀 賞三G伊藤ゆきの 最優秀賞 三A 伊藤真由子

入 選三A三浦 朋子

寄

文芸部誌部門

良賞

琢磨

書

贈 図 「一念を貫く」秋田の凄い先覚・列伝 人生をすばらしく生きよう」他十二冊 一十歳の青春に贈る人生論

加藤日出男(昭21卒)

著

大正13年卒元同窓会長内藤庸男氏が旧中学五年に 使用した歴史・漢文教科書 渡部誠一郎(昭25卒)著

午後のカサブランカ 秋山まり子(昭29卒) 博氏 (昭29年) より 著

により選出された新生徒会役 員がスタートを切った。 昨年、全校生徒による選挙 典 諒 弘 護

会長

 $\frac{-}{D}$

佐藤

副会長 副会長

I $\overline{\mathbf{D}}$

会務事項報告

平成五年次卒業十周 年同期会 昭和五十八年次卒業

> 簿第三十八号」発行の年であ ●平成十五年は「同窓会員名

今その作業を進めており

事務局だより

20

同窓会だより70号発行

一十周年同期会

封いたしました。返却締め切 名簿データ確認カード」を同 ます。今回のだよりに「会員

りを十五年四月三十日として

いますのでご協力下さいます

ワーク、斬新で柔軟な発想、 ことになる。新役員のチーム う節目の年を乗り切っていく 五年度、創立百三十周年とい

12 月 11 月 成田 矢吹 松渕清次郎S20(4) 吉郎 S S 11 36 真彦 S 29 茂 S 30

ので氏名のフリガナを忘れな

ページの充実も考えています ようお願いいたします。

謹んで哀悼の

意を表します

15 年 祥徳S 39 邦雄S 27 哲夫S20(5) 志郎S25 博清S19

1 月 今村 久悦S9 鳴海 健治S12 小林由紀夫S33 (福田) 信 S 13

小原

俊作S7 勇 T 15 佐々木清英S36 柴田亨二郎S28 佐藤 敏英S10

佐々木俊文S22

専 S 21

2 月 千葉 昭治S39 加藤津賀男S204 源一S 20 (5) 郁夫S38 嘉夫S33

うではないと思います。今回 の結び付きを更に深め母校同 う観がありますが、決してそ あった。同窓会といえば、 卒の会は二百十余名の参加で は年年盛会になってきていて、 ている「卒業十周年同期会」 ●数年ほど前から開催してき いで下さい 般的に年老いた人達の会とい 月二日に行われた平成五年

局が把握したものに限ってお 校でも学級減となっています 実施されることになったわけ ので、わが母校秋田高校にも 級三百二十人の定員となりま ります。ご承知おき下さい。 す。少子化の影響で県内各高 ●十五年四月の入学生は八学 いる哀悼欄はご連絡等で事務 ●毎号の「だより」に載せて れたらと思っております。 ち、いろんな面で応援してく 窓会に対して大いに関心を持

ますが、従前どおりよろしく●四月から事務局長が交代し

在校生も千人を切る状況にな です。したがって三年後には